

中学校 1 年

「聞き上手」になろう・提言編

河内長野市立東中学校

教科

国語

単元名

「聞き上手になろう」

本時のねらい

- ・生徒自身が考える「聞き上手」について、自分の言葉でまとめて発表する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・自身の活動記録を動画で撮影し、客観的な視点から自身の活動を捉える。
- ・生徒自身がアプリを選択して、自分の考えが伝わりやすいようなプレゼンテーションを作成する。
- ・学習支援ソフトの共有機能を活用し、自他の意見を比較する。

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 4, K-STEP 4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromecast ・Google Classroom ・Google スライド ・学習支援ソフト（ロイロノート） ・Canva ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○めあてを確認する。 「聞き上手とはどんな様子かを、自分たちの言葉でまとめよう。」 【写真 1】 ○めあてに関するルーブリックを確認する。	・自分たちが撮影したインタビュー動画などを参考に指示する。 ・電子黒板と同時に生徒の端末にも同様のデータを送り、生徒が手元でルーブリックを確認できるようにする。
展開 (40 分)	○質問をして相手の思いを引き出す。 ・話し手、聞き手、聴衆に分かれてインタビューする。 ・時間を決めて役割を交代し、全員がすべての役割を経験する。 ○学んだことをプレゼンテーションでまとめる。 【写真 2】【写真 3】	・自身の活動記録を動画で撮影し、客観的な視点から自身の活動を捉える。 ・プレゼンテーションを行う際に使用するアプリケーションは、生徒個人が選択するので、活用する目的を個々が自覚するように声をかける。 ・生徒作成のプレゼンテーションを共有し、全員が自由に他者の意見を閲覧、引用できる状況を作る。質問を参考に指示する際は、誰の意見を参考にしたかを自分のプリントなどにメモするよう声をかける。
まとめ (5 分)	○発表にむけての確認を行う。	

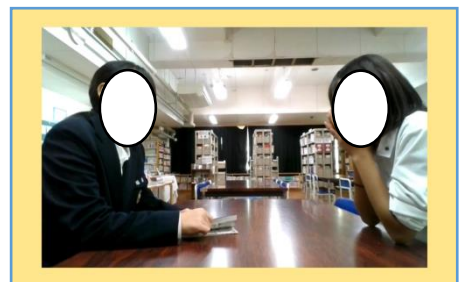
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】めあてを確認している様子



【写真 2】発表準備に取り組む生徒の様子



【写真 3】発表スライドに自作の実演動画を貼り付けた成果物

児童生徒の反応や変容

- ・インタビューと聞くと、「何をしたいのかわからない。」や「特に聞きたいことはない。」と話す生徒が多かったが、今回の活動で「聞き上手」になるためにできることについて深く考え、そして実践に活かそうとする生徒が多かった。またタブレットを主体的に活用する場を設定することで、情報の取捨選択を意識的に行う生徒が多く見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・上述のように、生徒に自己決定をゆだねる活動を設定することで、生徒自身の持つ情報活用能力が大いに高まったり、他教科で学習した内容を国語の時間に生かそうとするシーンが多く見られた。課題を設定し、その課題を解決するためにタブレットをどのように活用させるのか、また生徒自身にどのようにタブレットを使わせたいのかを考えながら、授業を組み立てていくという考え方が大切だと感じた。